



そめや ふみよ  
染谷 文代 氏

生年月日 昭和5年8月21日生  
住 所 田辺市上屋敷二丁目

昭和5年、神奈川県鎌倉郡片瀬町（現神奈川県藤沢市片瀬）に生まれ、昭和25年3月桜美林学園卒業後、結婚を契機に田辺市在住となる。

自身の子育て体験や幼稚園での勤務などから、子どもたちと共に本を楽しみたいという思いが大きく、昭和53年より田辺市立図書館の親子文庫の立ち上げや子ども向け行事に尽力してきた。昭和60年には「田辺おはなしの会」を立ち上げ、田辺市立図書館において読み聞かせ活動を開始する。お話し講座や絵本講習会の講師として活動するとともに、田辺市立図書館を拠点として市内の小学校や幼稚園、児童館へ出向き、おはなし会を開くなど、子どもたちが本を楽しむ機会を多く作ってきた。

また、県内外の読み聞かせボランティアとの交流会や講座・研修会を定期的に実施し、田辺・西牟婁地方における図書館活動と子どもの読書活動の振興に尽力した。

設立から23年間代表を務めた「田辺おはなしの会」は、積み重ねてきた活動が認められ、平成12年に田辺市より「田辺市立図書館100周年記念図書館活動振興功労者感謝状」、(社)読書推進運動協議会より「優良読書グループ表彰」、平成16年に文部科学省より「子供の読書活動優秀実践団体表彰」、平成19年に田辺市より「社会教育功労者表彰」を受ける。

平成6年には紀南地方の視覚障害者の学習活動を支援するため、和歌山県立紀南図書館を拠点として『図書館ボランティアの会「ともしび」』を立ち上げ、電話による地方新聞の朗読や録音図書制作を開始した。時事的な事象や時候の出来事をテープやCDに録音した録音雑誌「ともしび」の発行と共に交流会を実施するなどにより、視覚障害者の学習活動に貢献した。図書の音訳は、読むことの基本となる呼吸や発声、アクセントが重要で、加えて、専門的な知識を必要とするなど苦勞も多い中、仲間と共に長年音訳活動を続け、近年は新人ボランティアの育成にも力を注いだ。

設立から21年間代表を務めた「ともしび」は、積み重ねてきた活動が認められ、平成20年に「和歌山県知事表彰」、平成28年に厚生労働省より「ボランティア功労者感謝状」を受ける。

## 第 52 回 (令和 3 年)

その後、それぞれの団体において長年代表を務め、活動した氏の功績が認められ、令和 2 年に文部科学省より「図書館法施行 70 周年記念図書館関係者表彰」を受ける。

子どもたちへの読み聞かせや視覚障害者の方たちへの音訳と、長年にわたり地道に続けてこられた活動は、現在も続き活動している読み聞かせ等図書館におけるボランティア活動の先駆けとなり、礎を築くなど読書活動の振興に大きく寄与しており、その功績は誠に多大である。

### (学 歴)

昭和 25 年 3 月 桜美林学園英文専攻科卒業

### (職 歴)

昭和 51 年 5 月 田辺幼稚園 (昭和 52 年 3 月まで)

### (主な活動等)

昭和 60 年 田辺市立図書館で読み聞かせ活動をする「田辺おはなしの会」を立ち上げる (平成 23 年 3 月解散まで所属)

平成 6 年 図書館ボランティアの会「ともしび」を立ち上げる (令和 2 年 8 月まで所属)

### (役職等)

昭和 60 年 田辺おはなしの会代表 (平成 20 年 3 月まで)

平成 6 年 図書館ボランティアの会「ともしび」代表 (平成 28 年 3 月まで)

### (受賞歴)

田辺おはなしの会

平成 12 年 田辺市立図書館 100 周年記念図書館活動振興功労者感謝状 (田辺市)

平成 12 年 優良読書グループ表彰 ((社)読書推進運動協議会)

平成 16 年 子供の読書活動優秀実践団体表彰 (文部科学省)

平成 19 年 社会教育功労者表彰 (田辺市)

図書館ボランティアの会「ともしび」

平成 20 年 和歌山県知事表彰 (和歌山県)

平成 28 年 ボランティア功労者感謝状 (厚生労働省)

令和 2 年 図書館法施行 70 周年記念図書館関係者表彰 (文部科学省)